

留学通信

メキシコは日本と違いますか。 はい、そう思います。

Are Mexico and Japan so different? Yes, I think!



エレラ グラナドス ヘルマン
Herrera Granados, German

■2007年メキシコ国立自治大学卒業、同大学修士課程でメカトロニクス工学と機械工学を学ぶ。2010年メキシコ国立自治大学大学院修了。

■主として行っている研究

・マイクロ・ナノスケール切削加工技術の研究

■通学先

千葉大学大学院工学研究科 人工システム科学専攻 機械系コース 博士課程
(〒263-8522 千葉大学大学院工学研究科
(千葉市稲毛区弥生町 1-33 工学部 17号
棟 5階 504号室)

E-mail : german.hg@chiba-u.jp

1 はじめに

私はメキシコシティで生まれて、ここで教育を受けた。メキシコ国立自治大学 (UNAM) に進学し、その修士課程ではメカトロニクス工学と機械工学の勉強と研究をした。修士課程で研究しながら、UNAMの工学部とUNAMの応用科学技術開発研究所 (CCADET) で働いた。

その間、私は、研究と仕事に対して非常に充実し快適に感じた。しかし、以前から私は海外で勉強したり仕事をしたかったと思っていた。それは、夢か、チャレンジか、わからなかった。私は姉と兄を模範にしたからだろうと思う (そのとき、二人とも外国に住んでいた)。まだその答えを記述することはできない。パウロ・コエリョが『アルケミスト』で「あなたが何かをしたいときは、全宇宙はあなたがそれを達成するために協力する」と言ったように、その後、幸運にも海外に行く機会が与えられた。

2 日本への留学

私の日本での経験は、(独)国際協力機構 (JICA) から奨学金を得る幸運を手にした2010年3月に始まっ

た。毎年、JICAは、いろいろな研究分野での技術研修を実現するための奨学金を提供している。私が申し込んだメカトロニクスシステムコースは、私のメキシコでの研究である「精密小型生産システムの開発」に関連していた。これらのシステムの一つは、「はんこ名人」と呼ばれているものである (図1)。このシステムでは、デスクトップ工作機械で自分のはんこ (印鑑) のデザインを作ることができる。ペンを操作することで、はんこのデザインを再現することが可能である。すべてのペンの動きは1/10に縮小してフライス盤にリアルタイムで転送される。

私は、初めて日本に到着した日のことをよく覚えている。そのとき、フライトは17時間くらいかかった。飛行機でよく眠ることができなかった。しかし、私は日本に到着してから、一つ一つ細かいところを観察した。たとえば、どこにでも漢字の文字があった。車は道の左側で走っていた (メキシコでは車は右側を走る)、人々は完全に異なる言語を話す、などだ。そのときは私は留学したのが初めてだったので、少し怖かった。でもそれ以上に私はうれしかった。夢がかなったと思った。私は日本にいる!と実感した。

日本での最初の滞在地は大阪だった。JICAの研修は7週間の日本語の



図1 自分のはんこのデザインをはんこ名人で作った。



図2 桜(つくば市)とハカランダ(メキシコシティ), 右はハカランダの花の形



図3 よく似ているお盆祭りとお盆の日(右)の行事



図4 よく似ている富士山とポポカテペトル山(右)

研修を含んでいた。大阪では日本語の勉強だけではなく、文化や伝統について少し勉強したり、歴史的な所へ行ったり、美味しい日本料理を食べたりした。

大阪に滞在しているときに初めて花見へ行った。きれいでカラフルな景色なので、とてもびっくりしたが、いちばんびっくりしたのは日本人がこのイベントを楽しんでいることだ。日本全国で桜が咲くのを今かと待っている。花見が終わった後で、私はメキシコでも同じようなことがあるのを思い出した。メキシコでは春にきれいでトランペットの形をした花が咲く。この花の名前は「ハカランダ」である(図2)。しかし、メキシコ人はハカランダの花が咲くことを楽しみにしてはいない。私は春に花が咲くという点に気づいた後で、メキシコと日本についてほかの似ている点を探すようになった。

3 つくばでの研修コース

日本語の研修コースが終わった後で、茨城県のつくば市に行った。そこでメカトロニクスシステムの研修コースに参加した。この研修コースは(独)産業技術総合研究所で行われるので、私はとても嬉しかった。2010年の4月から11月までつくば市に滞在した。私の研究テーマは、マイクロ溝を作ることができる工作機械の開発である。この工作機械の開発の課題は、一定の切削力を維持することであり、滞在中にその課題を達成することができた。

つぎに、私は日本での二つの経験について書く。

毎年7月に日本ではお盆の祭りがある。私の知る限りでは、お盆は日本の仏教の行事である。お盆のときに、日本人は、亡くなった先祖が戻って来ると信じている。それから、先祖を迎

えるために、家族が集まって、祭壇に先祖の好きな料理や、お菓子や、飲み物などを準備する。メキシコで同じようなことがあるのを思い出した。毎年11月にメキシコでは「死者の日」と呼ばれる祭りを祝う。この祭りは古代のメキシコで始まったが、今ではこの祭りがカトリックの行事と混合している。この祭りではメキシコ人も亡くなった最愛の家族が帰って来ると信じている。日本のように、メキシコの家族は祭壇に好きな食べ物や飲み物を準備する。メキシコは日本と違うが、両方の国は非常によく似た方法でこの祭りを行うことにびっくりした(図3)。

2010年8月に富士山(3776メートル)に登った。登山シーズン(7月と8月)の間に富士山に登りたいと思う人は多い。そのときは、登山の体験のない人も登ることができる。私は富士山の写真をたくさん見た。そしてそのときに富士山とポポカテペトル山は非常によく似ていることに気づいた。ポポカテペトル山(5426メートル)は、メキシコシティの近くにある火山である(図4)。両方の山は国の首都から100キロぐらいのところにある。私は富士山に登った後で、真剣にポポカテペトル山に登ることを考えた。ときどき人は自分の国で活動を行うために外国で同じ活動を行う必要がある。しかし、ポポカテペトル山に登るときは専門的な登山経験が必要であり、ポポカテペトル山は活火山であるため、今は登ることは禁じられている。

4 おわりに

日本に初めて来たときに、私は日本とメキシコとは違うと思った。しかし、日本に滞在した8カ月の間に、私は両方の国の間に類似点を多く発見した。もちろん、相違点も多くある。研修コースで、私は技術的なスキルを高めることができた。外国で住んでいることから、私は別の視点から世界を見る機会を得た。

私はJICAの研修コースの研究を続けたかったから、もう一度日本に来た。今度の私の目的は博士号を取得することだ。私は日本で私のために準備されている新しい経験を待っている。

最後に、メカライフの読者の皆さん、メキシコにぜひ遊びに来てください。